

2. 指標設定

成果指標	指標名	安全・安心度		H27	指標の設定理由			
	数値	100%以上			平成20年における年間の交通事故発生件数(人身・物損事故総数)及び犯罪件数(全刑法犯)の合計を基準にして、対比を安全・安心度とするもの			
活動指標	指標	a	交通安全活動の参加者数	b	防犯パトロール隊結成数	c		d
	数値	目標	17,215人	目標	35隊	目標		目標

3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H21	H22	H23
安全・安心度	%	114.5 %	103.2 %	98.4 %
		114.5 %	103.2 %	98.4 %

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a 交通安全活動の参加者数	人	19,220	21,810	21,820
		111.6 %	126.7 %	126.7 %
b 防犯パトロール隊結成数	隊	32	33	35
		91.4 %	94.3 %	100.0 %
c				
d				

4. 課題と対応

課題
(交通安全) 脇見運転による事故及び高齢者と子供の事故が多い
対応(改善点等)
(交通安全) 交通事故防止活動(啓発活動等)を強化

5. 事業費・・・H21～H23(決算額)、H24(予算現額)

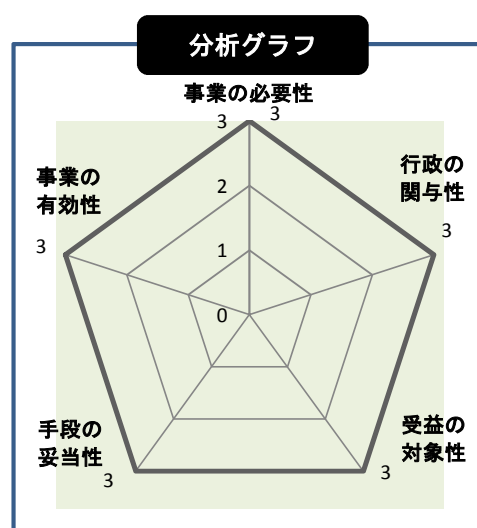
決算額(千円)		H21	H22	H23	H24
		17,695	17,571	14,910	21,424
うち経常経費		3,468	5,769	8,154	10,087
財源内訳	国費	9,516	6,989	6,681	
	県費				
	市債				
	その他	440	418	380	11,417
	一般財源	7,739	10,164	7,849	10,007
うち経常		3,468	5,769	7,774	9,707
事業費に係る人件費		16,512	16,205	16,125	16,703

6. H25年度予算の方向性

方向性
減額
理由
H24年度は、新規計上したJA共済安全・安心プロジェクト事業により増額となったが、単年度事業であり、H25年度は例年ベースになる見込み。引き続き経常経費の削減に努めている。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠	
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	交通事故や犯罪から市民を守り、安心して生活することができる環境を提供するためには必要である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	交通安全対策基本法等により、国、地方自治体、住民の責務が定められており、市の責務が発生する。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3	広く市民に享受できている。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	安全・安心なまちづくりを推進するうえで適切な手段である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3	平成23年度の成果指標は100%を若干下回ったものの、ほぼ期待通りの結果。



8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、設置場所等の適正配置と経費節減へ努めること。